

◇ 暖房時、エアコンが動かない？ ◇

部屋の寒さに気づきエアコン暖房の電源を入れたはずなのに、稼働していなかったと云う経験をされた方もいると思われます。

暖房時にエアコンが動かなくなる原因には、時間の経過で自然修復するものから、素人の方でも簡単に直せるもの、場合によって業者さんと呼び部品交換をしなければならない等の幾つかの事象があります。

知識がなければ簡単に復調する事象に対しても業者さんと呼び、出張費用等を支払うケースもあります。

エアコンの修理保証を行っている企業では、部品の交換・修理が伴わない対応となった場合の事を「ナンセンスコール」(つまらない、馬鹿らしい事象で、極めて簡単なサービスコールで例えば、電源が入っていないとか、取扱説明書に大きく書いてある簡単なこと)を云い、購入時にお金を支払ってエアコンの長期保証に加入していても保証の対象にならない場合もあります。それでも業者さんと呼ばば、出張費を支払わなければならないケースがあります。

特に厳寒期では、一刻も早く直したい気持ちになりますが、先ずその要因を探るところから始めなければなりません。

◇ エアコン暖房が動かないとき、チェックすること ◇

エアコン暖房が動かないとき、以下の様な要因が考えられます。

1・リモコンが正常に動いていない。

まずは操作を行っているリモコンが正常に動作しているかを確認してみましょう。画面表示が正常にされていても、電池が少ないとエアコンとの接続が悪くなる場合があります。電池を新しいものに変え、もう一度操作ができるか試してみてください。それでも動かない場合は他の原因も確かめてみましょう。

2・室外機が凍結してしまっている。

エアコン暖房は、室外機から外気を取り込んで室内を温めます。室温を上げた分の下がった空気を、外へ放出するような作用が働いています。

外部から汲み上げた熱は、コンプレッサーで凝縮されて高温になり、室内機を通して家の中へ送り出されます。

この作動中は、室外機に霜が付く、凍結するなど外りの空気が取り込めなくなることもあり、その時にエアコンの効率が極端に悪くなります。

通常仕様のエアコンは、外気温が氷点下になると必然的に動きが悪くなり、そのまま凍結してしまう可能性が非常に高いため、エアコンを寒冷地仕様のものに変更する事を推奨いたします。

寒冷地のように寒くならない地域でも、室外機が障害物で塞がっていると、本来外に排出されるはずの空気を室外機が再び吸い込む場合があります。

3・霜取り運転をしている。

エアコンには室外機の霜付着や凍結を防ぐため、霜取り運転(デフロスト)という機能があります。

方法はメーカーによって異なりますが、室外機を暖めて霜を溶かす機能です。この霜取り運転中はエアコンが一時的に稼働しなくなるという場合があります。

霜取り運転は、せいぜい10分程続きます。霜取り運転が終わると自動的に暖房稼働に切り替わります。

4・フィルターや室外機に汚れが溜まっている

これは冷房時と暖房時にも共通して云えることなのですが、エアコンのフィルターや室外機の防塵ネットに汚れが溜まると、エアコンが効かなくなります。

エアコンは、定期的にフィルター掃除を行うことが肝心です。

◇ 原因はまだあります ◇

今回は、暖房時のエアコンの不具合の事例の中から、幾つか紹介させて頂きましたが、これらの他にも様々な要因があります。

エアコンの説明書を、インターネット等で調べてみると解決する場合も多くあります。業者に修理依頼を行う前に自分で出来る事を行うべきです。

(研究開発室 田中海優)

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで!



ファースの家

検索

